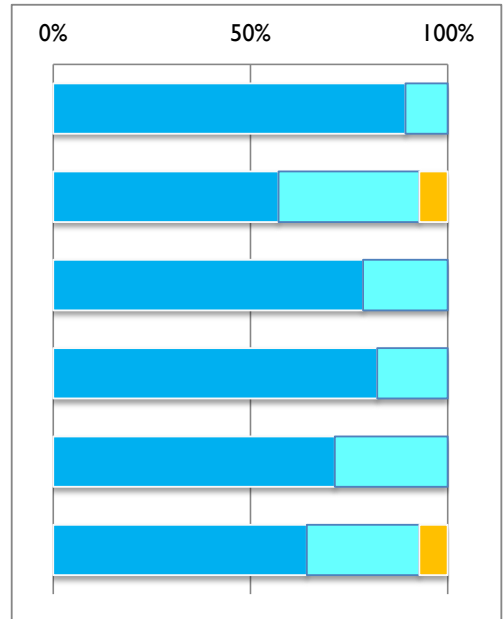


平成30年度甲西中学校学校評価（7月実施） 教職員自己評価の集計結果

4： そう思う 3： ややそう思う 2： ややそう思わない 1： そう思わない

1 学校経営・組織・安全管理

評価項目	4	3	2	1	評 価	
					今回	前年同
1 学校教育目標の達成に向け、学校経営方針に基づき、学校運営がなされている。	25	3	0	0	3.9	3.8
2 教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	16	10	2	0	3.5	3.3
3 教育活動が組織的に計画され、協力体制のもとで、実施されている。	22	6	0	0	3.8	3.5
4 校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整備・保全)している。	23	5	0	0	3.8	3.7
5 事故、事件、災害に対して迅速かつ適切な対処ができるようマニュアルを整備し、リスクマネジメント、クライシスマネジメントを行っている。	20	8	0	0	3.7	3.7
6 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	18	8	2	0	3.6	3.7

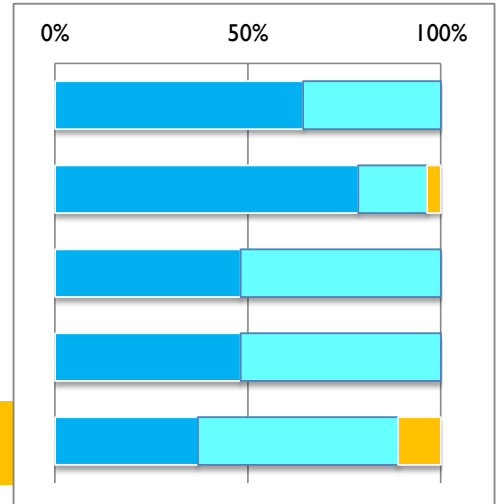


1 学校経営・組織・安全管理についての自由記述

- ・学校経営方針に沿って学校経営がされていると思います。
- ・校訓「克己自問」のもと教育活動が行われていると思います。
- ・今年は、教務と各学年の縦の関係も、学年間の横の関係も、組織化され連携協力が図られていると思います。
- ・パソコンのデータに古いものが入ればなしになっているので整理したい。
- ・テストの取扱いなど、個人情報の管理をしっかりしていきたい。

2 教育課程・教科指導

評価項目	4	3	2	1	評 価	
					今回	前年同
7 学習指導要領に基づき、キャリア教育の視点も踏まえた教育課程が編成され、それに基づいた教育活動が行われている。	18	10	0	0	3.6	3.5
8 生徒の学習意欲と学力の向上のため、校内研究の柱である少人数による学び合いを取り入れた授業改善に取り組んでいる。	22	5	1	0	3.8	3.4
9 評価基準を明確にし、生徒の学習状況を分かりやすく、適切に評価している。	13	14	0	0	3.5	3.5
10 3年間を見通す中で計画的に総合的な学習が実施され、成果があがっている。	13	14	0	0	3.5	3.3
11 道徳の授業の充実をめるとともに、他者を思いやる心や規範意識を育てる教育活動を、日常的に実施している。	10	14	3	0	3.3	3.1

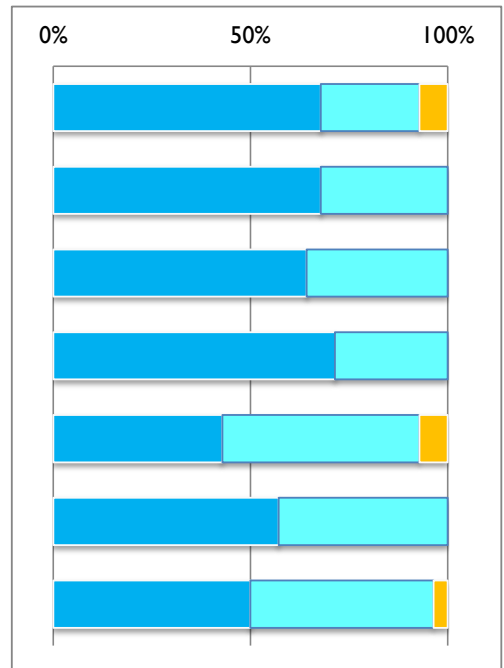


2 教育課程・教科指導についての自由記述

- ・少人数による学び合いに全校で取り組んでいるが、その意義を生徒が実感できるようさらに研究を深めていきたい。
- ・より深い学びにつなげるための方策を練ることが必要である。
- ・少人数による学び合い活動を通して、授業改善を行っていると思います。
- ・本公開に向けて少人数学習の充実を図りたい。
- ・グループワークの取り入れ方にまだ課題があると思います。
- ・道徳心を育てられるような取組を増やしていきたい。

3 生徒指導・教育相談・特別支援

評価項目	4	3	2	1	評価	
					今回	前年同
12 生徒の問題行動に対し、報告・連絡・相談の体制が確立され、共通理解の上で組織的に対応している。	19	7	2	0	3.6	3.4
13 いじめの早期発見に努めるとともに、早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	19	9	0	0	3.7	3.3
14 親との対応や関係諸機関との連携が、スムーズに行われている。(SC, SSW, SS等)	18	10	0	0	3.6	3.5
15 養護教諭やスクールカウンセラーなどと連携を図り、教育相談等に生かしている。	20	8	0	0	3.7	3.6
16 「子弟同行」が行われ、教師が生徒の模範や理解者・支援者となりえている。	12	14	2	0	3.4	3.3
17 不登校傾向のある生徒の支援に配慮し、必要に応じて関係機関と連携を図りながら対応している。	16	12	0	0	3.6	3.1
18 特別支援教育について共通理解が図られ、保護者や生徒の抱える諸問題に真摯に対応し、個別の支援計画に基づいて実施されている。	14	13	1	0	3.5	3.3

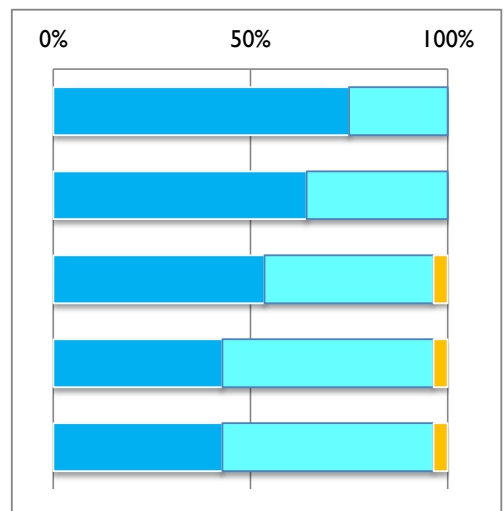


3 生徒指導・教育相談・特別支援についての自由記述

- ・落ち着いた学校である今の状態から、さらに生徒、保護者が学校で生活することに充実感を感じられる学校になるようきめ細やかな配慮に努めたい。
- ・個別の対応が必要な生徒が増えている中で、先生方が本当に丁寧にやってくださっていると思います。
- ・それぞれの生徒、様々な問題行動に、担任の先生方は本当に一生懸命取り組んでいると思います。生徒だけでなく、親への対応も含めて、今後も丁寧に頑張ってください。
- ・特別支援教育に係って、他学年の生徒への配慮や情報の共有に課題がある。
- ・保護者との連絡を密にしていきたい。

4 特別活動

評価項目	4	3	2	1	評価	
					今回	前年同
19 学校行事や生徒会活動(学年生徒会)の取組が、生徒の成長(自主性や協調性)や学校生活の充実につながっている。	21	7	0	0	3.8	3.4
20 部活動において、生徒が達成感を得られるよう、活性化するための工夫や配慮がなされている。	18	10	0	0	3.6	3.6
21 合唱を推進する活動が計画的、効果的に行われ、生徒の心の教育や集団づくりに役立っている。	15	12	1	0	3.5	3.3
22 朝のあいさつ運動などを通して、あいさつができる生徒の育成に努めている。	12	15	1	0	3.4	3.1
23 今日の健康課題(薬物乱用・エイズ・熱中症等)について、専門機関との連携を図り、授業や講演を通して指導がなされている。	12	15	1	0	3.4	3.2

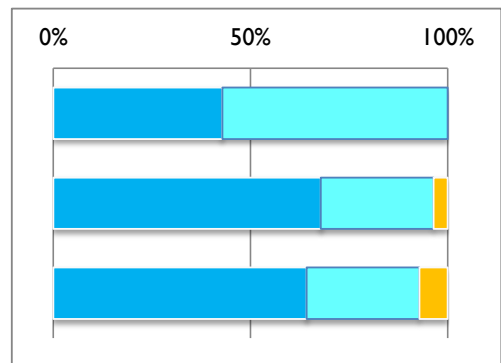


4 特別活動についての自由記述

- ・生徒の部活への意識、意欲が高いと感じます。合唱も同様に高い意識を持って取り組めるようにしていきたい。
- ・部活動に入らない生徒、入っていてもなかなか参加できない生徒が増えてきていると思います。
- ・生徒の自主性、主体性を伸ばすような取組を意識して指導している。
- ・甲西プライドを持って生徒会活動が運営されている。
- ・合唱やあいさつについては、さらに改善を図っていきたい。

5 保護者・地域との連携

学校評価項目	4	3	2	1	評 価	
					今回	前年同
24 関係諸機関との連携により、外部との信頼の輪が広がり、教育活動や生徒指導に役立っている	12	16	0	0	3.4	3.3
25 生徒の学習や生活の様子を保護者に知らせ、保護者との相互理解を図り、連携している。	19	8	1	0	3.6	3.7
26 授業参観や学校開放日を適切に設けたり、学校・学年・学級だよりやホームページを活用したりして、学校内の情報を保護者や地域に適切に伝えている。	18	8	2	0	3.6	3.4



5 保護者・地域との連携についての自由記述

- ・学校からの便りが保護者にまで届いているかが心配です。
- ・学級だよりをもっと出すように頑張りたい。
- ・我々の頑張りがどうしたら親にも伝わっていくのか、そういうことも考える必要があると思います。

6 26項目以外の自由記述

- ・落ち着いた環境で、生徒の実態に即した教育活動が実践されていると思います。
- ・朝読書の取組について、まだクラスや学年で差があると思う。読んでいない生徒が0になるようにしていきたい。

考察

はじめに

今年度は、昨年度までの調査においてある程度定着が図れているものを削除したり、質問項目をまとめたりすることで、全体の質問数を31から26に減らし、ポイントを絞って実施した。

今年度の全体の傾向は、昨年の同時期の値を21項目で上回り、高い自己評価を示している。このことは、数年前まで生徒指導に大きな労力を注がなければならぬ状態であったが、その点が教職員の努力や環境の変化によって改善し、落ち着いた学校生活が送れるようになったことが影響していると考えられる。

今後は、この改善傾向を維持していくために、自己評価が教師側だけの自己満足感や安心感に陥らないようにし、生徒、保護者アンケートなどとも比較しながら、評価の低かった項目や昨年度を下回った項目の改善に努めていきたい。

1 学校経営・組織・安全管理について

- ・ほとんどの教員がどの項目においても肯定的な評価をしていて、5、6以外は昨年度に比べて、向上している。
- ・「2 教職員の相互理解、信頼関係」や「3 教育活動の協力体制」について評価されている点は、教務主任をはじめ、各学年主任間の連携が図られていると考えられる。このことは、教育活動の運営や生徒指導などにおいて今後も大切になるので、さらなる改善に努めていきたい。
- ・昨年度より評価が下回っている「6 個人情報の扱い」については、校務支援システムの活用だけでなく、教職員一人ひとりの意識の向上を図り、新聞やニュースで報じられているような事案が発生しないよう、教職員への指導を徹底していく必要がある。

2 教育課程・教科指導について

- ・市の「学びの質を高める授業づくり推進事業」の指定研究を受けている関係もあり、「8 校内研究の柱である少人数による学び合いを取り入れた授業改善の取組」については、昨年以上に高い評価になっている。
- ・授業を含め道徳教育の充実については、昨年度より改善しているものの、数値的にはまだ低く課題がある。来年度から教科書を使っての道徳の授業も始まるので、県の教育課程説明会を受けて、今年度中に少しでも授業実践を行い、来年度に備えていきたい。
- ・全体的に教師の授業改善に対する自己評価は悪くないが、保護者のアンケートから見ると、その点があまり評価されていない。授業改善の取組やさまざまな教育活動が、学習意欲と学力の向上につながるように今後も継続して取り組んでいく必要がある。

3 生徒指導・教育相談・特別支援について

- ・ 生徒が落ち着いて学校生活を送れるようになり、どの項目も評価が上がっている。しかし、現状に満足せず、コメントにもあるように生徒、保護者が充実感を感じられる学校になるよう、さらなる努力をしていくことが求められる。
- ・ 「13 いじめの早期発見、早期対応」については、昨年度よりも0.4ポイントよくなり改善が見られた。今後も改正した「学校におけるいじめ防止基本方針」を全教職員でしっかり確認し、生徒指導部会を中心に組織的な対応に努めていきたい。
- ・ 不登校や特別の支援が必要な生徒の対応についても、ケース会議や個別の事例を踏まえた支援会議を開催したことで、教職員の意識の高まりが図られている。今後も教職員間の連携を深めるとともに、保護者とも連携を図りながら、改善に努めていきたい。

4 特別活動について

- ・ 学校行事や生徒会活動については、昨年度からの良い流れを引き継ぎ、今年度も担当教職員の指導の下、生徒の成長につながる取組が行われ、成果を感じている教職員が多い。
- ・ 部活動については、中巨摩や県の大会で好成績を残し、生徒、保護者、教職員とも例年と同じように高い評価をしている。部活動は、結果だけでなく、異学年の集団における協調性を育む場として、中学校生活の中でも重要な活動になっている。しかし一方では、生徒の学習時間の確保や教師の時間外勤務の問題など課題を抱えている面もあるので、今後も「甲西中学校部活動の方針」の通り、メリハリを持った活動をしていく必要がある。
- ・ 合唱活動やあいさつ運動については、昨年以上に高い評価を示しているが、コメントにもあるようにその質的な高まりを求めるためには、教職員もより意識を高めながら、さらなる改善が必要である。
- ・ 「23 今日の健康課題」については、講演会などによる単発的な指導にならないよう、今後も継続して取り組んでいきたい。

5 保護者・地域との連携について

- ・ 学校通信、学年通信、学級通信などを定期的に発行したり、学校開放日を設けたりして、情報公開に努めている。今後はそれらがしっかり伝わるよう、メール等を活用したり、生徒を指導したりしていく必要がある。
- ・ 「24 関係諸機関との連携」については、スクールサポーターや警察など生徒指導面や市の福祉総合相談課など特別支援関係の面では連携が取られているが、日頃の授業などの支援については、学校応援団的な組織もなく十分な活動がなされていない状況である。今後は学区内の小学校の状況を確認し、その改善に努めていきたい。
- ・ 苦情を含め、保護者が学校に連絡をしてくることは、保護者との連携を深めるチャンスとしてとらえ、今後も保護者の声を聴く姿勢を大切にしながら、その対応に努めていきたい。

6 26項目以外について

- ・ 読書に関する評価は、生徒、保護者とも改善傾向はみられるものの、まだ低い値である。朝読書についても生徒による自己評価は昨年度に比べて改善されているので、今後はその質的な高まりを意識しながら指導し、生徒の読書意欲の向上に結び付けていきたい。
- ・ 落ち着いた環境で教育活動が実践できるようになっている。来年度以降、教職員のメンバーが変わっていく中でも、教育の質を維持、向上させるために、全教職員が今後も意識を高く持って教育活動にあたる必要がある。
- ・ 保護者や地域からの評価は、教職員の活動の直接的な評価よりも、子供(保護者は特に自分の子供の姿)を通して行われるものである。その点を考えると、子供たちの課題だけでなくその良さを積極的に伝えるとともに、さまざまな活動を通して、何事にも主体的で、対話的で、深く学んでいける力を育成し、発揮できるよう、今後も継続して指導していく必要がある。

メモ